

避難所運営訓練

避難所運営訓練は、災害時に避難所となる区立小・中学校などを単位として行われる訓練です。避難所の開設や運営を円滑に行えるように、地域住民の方々や学校関係者などが協力して実施しています。



地区防災訓練

北沢地区防災訓練

実施日 10月14日(土) **会場** 北沢中学校

※新代田地区防災訓練は雨天のため中止

地区防災訓練は、まちづくりセンター単位で地区の方々が実行委員会を組織して、災害時の初動訓練(自助・共助)を中心に行うものです。北沢地区では、北沢中学校の協力のもと、煙中訓練、応急救護訓練、D級可搬消防ポンプ・スタンドパイプ・水消火器を使った訓練などを、中学1年生と一緒に行いました。



防災教室

町会・自治会、学校、事業所、マンションの管理組合などで計画・実施する防災訓練を防災教室と呼んでいます。「自分たちのまちは自分たちで守る」という意識を啓発するためにも、身近な組織での防災教室を検討してください。

令和5年度は2月末日現在、90回実施 延べ10,256人参加されています。

【内訳】 町会・自治会 …… 28回
学校・保育園 …… 34回
その他 …… 28回



自分たちのまちは自分たちで守る

災害が起きたら、まず自分の安全を確保しましょう。
そして、地域で協力して助け合いましょう。
自分たちのまちは自分たちで守る「共助」の心構えと行動が大切です。
そのためにも、防災訓練・防災教室に参加し、
災害時にとるべき行動を体で覚えておくことが必要です。

編集後記

今年度も、多くの方々に北沢地域の防災力を高めるための事業にご参加いただくことができました。ご協力・ご参加いただいた皆様、ありがとうございました。また、北沢地域区民防災会議では在宅避難を推進する啓発クリアファイルを新たに作成しました。防災訓練等のお土産としての配布を考えておりますので是非ご活用下さい。

防災せたがや

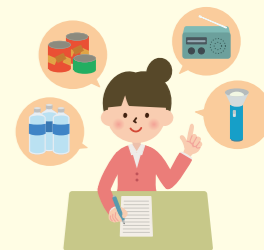
第25号

北沢地域版

【発行】 令和6年3月
【発行者】 北沢地域区民防災会議
【事務局】 世田谷区北沢総合支所
地域振興課地域振興・防災
電話 03(5478)8028
FAX 03(5478)8004

在宅避難をしましょう

避難所は自宅が倒壊・半壊したり、火災に見舞われたりして自宅に住むことができなくなった方のために開設されますが、スペースや備蓄が限られており、環境の変化などにより体調を崩す人もいます。**自宅で生活できる状況であれば在宅避難をしましょう。**そのために、日ごろから住宅の耐震化や家具の転倒・落下・移動防止を行い、食料や水など必要なものを備えておくことが大切です。



安全に在宅避難できるように今一度住まいの点検を!

わが家の安全対策をしましょう

地震による負傷者の約3~5割の方々が屋内における家具類の転倒・落下によって負傷しています。在宅避難をするうえで**住まいの耐震化、家具類の転倒・落下・移動防止、整理**を行うことは、「自分や家族の命」を守るために最も重要な、災害への備えの第一歩です。自分の家の危険なところを今一度点検してみましょう。



☑ あなたの住まいは大丈夫?

- 家具は転倒防止器具(突っ張り棒など)を活用し、壁や柱にしっかりと固定する
- 高い所や狭い所、廊下に物を置かない
- 窓やガラス面のある家具には、飛散防止フィルムを貼る
- 懐中電灯や消火器を準備しておく
- タコ足配線をしない
- カーテンの近くに暖房器具を置かない
- 寝室にスリッパ、懐中電灯などを用意する



出火防止対策として感震ブレーカーを設置しましょう

感震ブレーカーとは…

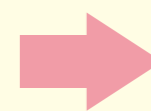
「感震ブレーカー」は、地震の強い揺れを感知して、電気を自動的に遮断する機器です。大地震が発生したとき、外出中や緊急に避難する必要があるときなど、ブレーカーを落としたり、電気製品のコンセントを抜いていなくても、電気火災を防止することができます。ホームセンターや通販で購入できます。

＜感震ブレーカーの種類と特徴＞ 出典:東京都ホームページ

タイプ	コンセント型		機器型	分電盤型	
	特定機器遮断型	一括遮断型		内蔵型	壁付型
イメージ					
遮断範囲	選択した機器のみ		屋内全ての電気供給		
設置工事	不要	必要	不要	必要	
遮断までの時間	なし		あり・なし ※製品によって異なる	あり (3分程度)	

区の耐震支援をご活用ください

区では、安全・安心のまちづくりをめざして建物の耐震支援を行っています。支援対象、条件などについて、詳しくはこちらからご確認ください。



令和5年度活動報告

北沢地域区民防災会議では災害に備え、様々な防災活動を行っています。令和5年度の活動を紹介します。

上級救命講習会

実施日 令和5年9月15日(金)

参加者 11名

東京防災救急協会の方にご指導いただき、消防団の皆様のご協力のもと、普通救命講習の内容(心肺蘇生やAED、異物除去、止血法など)に加え、小児・乳児の心肺蘇生、傷病者管理、外傷の応急手当、搬送法などを学びました。

受講された方には講習終了後「上級救命技能認定証」が交付されました。認定期間は3年となりますので、過去に受講された方も、繰り返し受講することにより、知識と技術を維持しましょう。



防災研修会(講演会)

実施日 令和5年11月9日(木)

会場 北沢タウンホール 2階「ホール」

参加者 72名

講演名 「首都直下地震から大切な人を守るための準備と災害時の情報伝達について」

講師 防災アナウンサー 奥村 奈津美 氏

広島、仙台で地方局アナウンサーとして活動後、東京でフリーアナウンサーに。TBS『はなまるマーケット』で「はなまるアナ」(リポーター)を務めるほか、NHK『ニュースウオッチ9』などの報道番組を長年担当。東日本大震災を仙台のアナウンサーとして経験して以来、全国の被災地を訪れ、取材や支援ボランティアに力を入れている。また防災啓発活動に携わるとともにテレビ・ラジオをはじめ、雑誌・新聞など様々なメディアで「おうち防災」の専門家として活躍している。防災士、福祉防災認定コーチ、防災教育推進協会講師、防災住宅研究所理事、東京都防災コーディネーター、環境省森里川海プロジェクトアンバサダーとしても活動中。



本講演会は、北沢地域の町会・自治会の方々を対象に、防災への意識啓発を図ることを目的として実施しました。

講演では、東日本大震災で被災されたご自身の体験、被災地での報道に携わった経験を踏まえ、大地震から命を守るための重要なポイントや普段からの備えについて分かりやすく講義していただきました。

講演後のアンケートでは、「実際に震災を経験された方のお話は説得力がありよかった」「具体的な事例を挙げてくれたため大変分かりやすかった」「我が家での地震への備えは万全か今一度点検したい」などの感想が多数寄せられました。

防災リーダー研修会

実施日 令和5年12月1日(金)

参加者 34名

本研修は、北沢地域防災リーダーの方々を対象に、防災に関する技術や知識をさらに広げ、災害発生時に防災資機材をスムーズに使用できることを目的として実施しました。今年度は町会・自治会の皆様にも案内をお送りし、多くの方にご参加いただくことができました。

研修では、蓄電池や発電機、マンホールトイレなどの防災資機材の取り扱い方法を学びました。「現物を見て操作することでコツなどを知ることができた」「毎年参加してまちの防災力を高めたい」といった感想が寄せられ、繰り返し訓練をすることの大切さが確認されました。



防災施設見学会

実施日 令和6年2月20日(火)

参加者 34名

見学先 そなエリア東京

そなエリア東京は、地震災害後の支援が少ない時間を生き抜く知恵を学ぶ防災体験学習ツアー「東京直下72hTOUR」を中心とした防災体験学習施設です。被災地や避難所の様子を再現した実物大のジオラマ展示、首都直下地震特設コーナー、地震発生後生き抜くヒントや備えたいグッズの紹介コーナーなどを見学しました。また首都直下地震発生時に緊急災害現地対策本部の候補地となるオペレーションルームも見学することができました。防災に対する心構えを再認識するためにも、ご家族やご近所の方と訪れてみてはいかがでしょうか。



災害時消火用資機材講習会

実施日 令和6年3月17日(日)

参加者 36団体 83名

会場 まもりやまテラス

本講習会は、消火用資機材の基本的な取り扱いを学ぶことを目的として、世田谷地域区民防災会議と合同で実施しました。

講習では、世田谷消防署・世田谷消防団の第7分団及び第8分団のご協力のもと、スタンドパイプとD級可搬消防ポンプ、水消火器の実技演習を行い、繰り返し訓練することの大切さが確認されました。

